参考様式

やまなし県有林Ｊ－クレジット共同創出事業

企　画　提　案　書

山梨県知事　長崎　幸太郎　　殿

企画提案者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所 在 地

　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名

（担当者名　　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　メールアドレス

１　実施体制

|  |
| --- |
| （１）実施体制 |
| （業務にあたっての組織体制（組織図）及び業務ごとの人員配置、森林資源解析業務を実施できる技術者の配置を記載してください。） |

|  |
| --- |
| （２）実績 |
| （令和３年度以降に行ったFO-001森林経営活動方法論に基づくＪ－クレジット創出の実績件数、創出（予定）量、販売実績などを記載してください。） |

|  |
| --- |
| （３）スケジュール |
| （Ｊ－クレジット創出に向けたスケジュール、審査機関への対応などを記載してください。） |

２　提案内容

|  |
| --- |
| （１）やまなし県有林Ｊ－ＶＥＲの買取り |
| （やまなし県有林Ｊ－ＶＥＲの買取単価を記載してください。） |

|  |
| --- |
| （２）Ｊ－クレジットの創出経費 |
| イ　創出業務に要する経費（見込み）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務内容 | 数量 | 単位 | 単価(円) | 金額(千円) |
| (例：航空レーザ解析) | 5,000 | ha | ○○ | ○○○ |
| (例：プロジェクト計画書資料整理) | 60 | 時間 | △△ | △△△ |
| (例：妥当性審査機関契約) | 1 | 件 | □□ | □□□ |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合　　　　計 |  |

　※行が不足する場合は、適宜追加すること。ロ　創出経費の抑制を図る取組　　（航空レーザによる解析や申請事務の効率化等、創出に要する経費の抑制を図る取組があれば記載してください。） |

|  |
| --- |
| （３）Ｊ－クレジットの創出量 |
| 　イ　創出方法及び創出量　　（今回の事業における創出方法及び創出見込量について記載してください。）　ハ　創出経費に相当するクレジット量　　（創出に見込まれる経費と企画提案者が想定するクレジット販売単価から算出し、記載してください。） |
| （４）販売支援 |
| （山梨県がＪ－クレジットを販売することに対し、支援（又は買取）する内容を具体に記載してください。併せて、FSC森林認証由来のクレジットであることを考慮に入れた販売支援又は買取りの取組について記載してください） |

|  |
| --- |
| （５）その他 |
| （その他に事業の目的に沿った提案事項があれば記載してください。） |

３　航空レーザデータの活用

|  |
| --- |
| （１）森林資源情報の解析 |
| （航空レーザデータを活用して、県有林管理に効果のある解析、情報提供について記載してください。） |

|  |
| --- |
| （２）森林資源解析情報の活用 |
| （森林資源解析情報の活用方法、提供方法や時期について記載してください。） |

４　業務工程

|  |
| --- |
| （全体の工程がわかるように、業務ごとの工程を表形式で記載してください。なお、工程表は別書面による作成でも可能です。） |

５　その他

|  |
| --- |
| （クレジット販売以外で提案できる内容があれば記載してください。） |

**※様式内の各項目の括弧書き（記載内容の説明）は、削除して使用してください。**